

令和3年度 2学期終業式 校長の話メモ

「終業式」というのは、大きな節目になります。

この節目、節目に、自分をふりかえり、自分のこれからの未来を考えることは、とても大切に素敵なことだと思っています。学活や学年集会等で、すでにふりかえりをしている人もいますが、皆さんぜひ、そんな機会を持ってください。

その際に、必ず良かったこと、自分が成長できたことを3つ以上考え出してみてください。東陽中学校としては、2学期9月、臨時休業を長期間したという大きな反省がありますが、その際にオンライン授業の配信など、他校にも参考になる実践をできたこともあり、良かったこともありました。失敗してしまった裏側には、実は良いことがあるものです。ぜひ自分の成長できた点を確認して、次に進んでください。

2学期というのは、中学校にとっては「世代交代」の学期になります。

これまで3年生は、昨年の2学期から1年間、東陽中を見事に引っ張ってくれました。授業を見ても行事の取り組みを見ても、クラスの団結を感じます。1年生から取り組んでいる班活動などの成果ですね。そのつながりが、体育大会で披露したクラスの思いがこもったダンスになっていたのだと思います。見ている人が感動し、元気をもらいました。ありがとう。これからは、自分の進路を切り拓いていく時期になります。入試は個人戦のようですが、実は団体戦です。これまで築いてきたクラスの団結も生かし、自信をもってチャレンジしてください。

この冬休みも、朝型の生活を維持して、元気に過ごしてください。夜に入試はありません。

2年生は、ここから1年間、東陽中の“顔”です。みんなに注目されます。しかし、本当に学校を陰ながら支えているのは、実は2年生だと思っています。今年度、東陽中が落ち着いて過ごすことができているのは、2年生皆さんの力です。ありがとう。

これからは、その力を存分に発揮して、東陽中の“顔”として活躍することを期待します。

1年生の皆さん、今の東陽中のエネルギー源は、皆さんのパワーです。元気いっぱいの1年生、とっても素敵です。これまでしっかりとメリハリもつけることができ、そのパワーを存分に発揮してくれています。これからも、そのパワーを生かして東陽中をしっかりと支えてもらい、自分たちもしっかり楽しんで欲しいと思います。

今、東陽中は、それぞれの学年が役割をしっかりと果たしているので、とてもバランス良く進んでいると感じています。3学期以降も、これまでの良さをさらに伸ばして、過ごして欲しいと思っています。

学校の主役は、生徒皆さんです。今、生徒会の役員がとっても頑張っていて活動しています。そのスローガン、めざす学校像をととても気に入っています。

生徒会スローガン 『変化を進化に！ 「とも」に輝く未来へ！』

新生徒会役員がめざそうとしている学校

「みんなの意見を大切に過ごしやすい学校」

「ちがいを認め合える学校」 「登校するのが楽しみな学校」

登校するのが楽しみな学校をめざし、今日のあいさつ運動をはじめ、12月にさまざまな取り組みをしてくれました。本当うれしいことです。

「ちがいを認め合える学校」ということに絡めて、少し話をします。

校長室に「私と小鳥と鈴と」(金子みすゞさん)の最後の一文「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」を掲げています。私と小鳥と鈴と、それぞれ得意や不得意はあります。

皆さんも今、周りにいるなかまを見てください。誰一人同じ人間はいないですね。ちがいがあからおもしろいのであって、同じ考えの人ばかりは、おもしろくないですね。

3学期以降、そのちがいを認め合える学校を、みんなで作っていきましょうね。

最後に、この冬休み、健康に過ごしてください。オミクロン株の市中感染が大阪で…という状況だけに、これまで身につけてきた With コロナの習慣をいかしてください。

1/7 3学期始業式には、みんなの元気な顔と再会したいです。では皆さん、良いお年を…